

ラウンドテーブル1
学士課程教育における共通教育の質保証
— 直接評価と間接評価の開発と統合について —

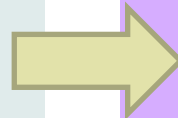
まとめ

松下 佳代

京都大学高等教育研究開発推進センター
matsushita.kayo.7r@kyoto-u.ac.jp

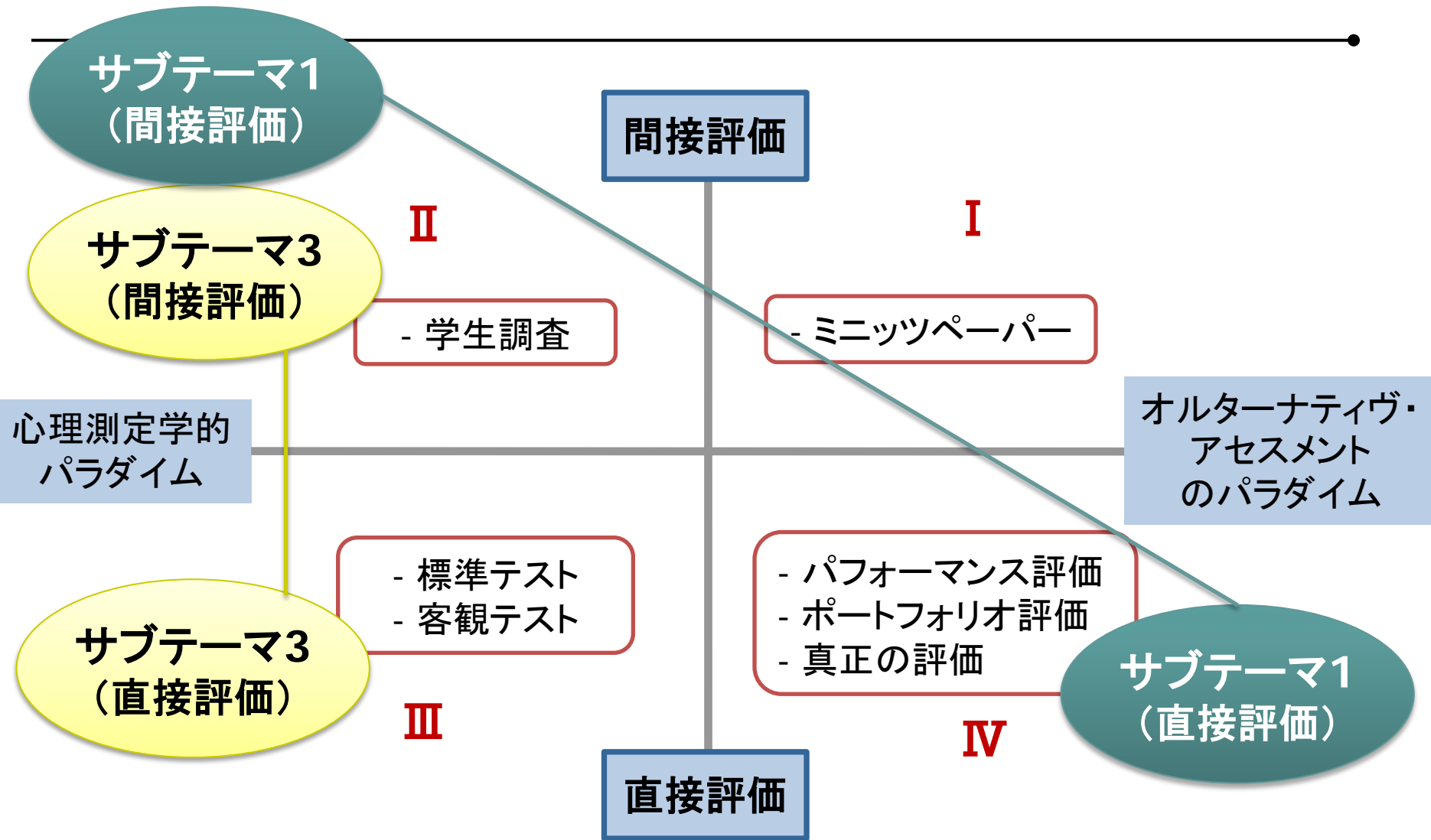
現在の状況 と 今後の予定

- サブテーマ1
 - 授業科目レベルでの直接評価＋間接評価
- サブテーマ3
 - プログラムレベルでの間接評価
- サブテーマ1と3の連携
 - ？



- サブテーマ1
 - 授業科目レベルでの直接評価（パフォーマンス評価）＋間接評価（CLQ）
- サブテーマ3
 - プログラムレベルでの間接評価（JSLS2013）＋直接評価（小テスト）
- サブテーマ1と3の連携
 - 授業科目レベルとプログラムレベルの統合？

テーマ1とテーマ3の関係



主なフィールド(直接評価と間接評価)

	サブテーマ1		サブテーマ3		データの マージ
	直接	間接(CLQ)	直接	間接(JSLS)	
新潟大学歯学部 (PBLテュートリアル 科目)	○	○	—	○	可
名古屋商科大学 (初年次セミナー+ ライティング)	○	○			可
千葉大学			—	○	可
山口大学 (初年次科目)	○	?	—	○	不可

今後の検討課題

- 学生の学習成果（知識・能力など）を長期的に把握できる直接評価の開発
- 直接評価と間接評価の統合に向けた測定方法の開発、あるいはそれぞれの独自性の明確化
 - 学生の自己報告が単に直接指標の代理指標ではなく、独自の意味をもつような学習成果にはどんなものがあるか？（e.g. 自己認識）
 - 同じ調査票を使って、直接評価と間接評価の統合が可能か？
- 授業科目レベルとプログラムレベルの学習成果の統合